

# 第 232 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 6 年 10 月 28 日（月） 14：30～15：10

場 所：浜田市役所本庁 4 階講堂 AB

出席者：岡田教育長 杉野本委員 岡山委員 倉本委員 浅津委員

事務局 草刈部長（欠席） 藤井課長 山口課長 鳥居室長 松井課長

書記：日ノ原係長 堀上主任主事

## 議事

### 1 教育長報告

#### 2 議題

(1) 浜田市教育委員会ボランティア表彰について（資料 1）

#### 3 部長・課長等報告事項

#### 4 その他

(1) その他

### 1 教育長報告

岡田教育長

10 月には、教育委員方、小学校や幼稚園の学校訪問にお出かけいただき、本当にありがとうございました。随分、回数も多かったため、日程調整が大変だったと思う。感謝を申し上げる。

その中で、今の不登校の対応や、市内の小学校在教育委員会と同じ方針、同じ方向を向いて学力向上に取り組んでいるという様な状況を見てとっていただけたのではないかと思っている。学力向上にしても、不登校にしても、これはなかなか長くの懸案事項ではあるため、今、市内の全体で足並みをそろえて取り組んでいるため、もう少し長い目で見ていただけたら嬉しく思う。

それでは、今日の資料に沿って活動報告をさせていただきたいと思う。

#### ① 9 月 30 日（月）9 月議会閉会（表決、全員協議会）

9 月 30 日に、浜田市議会の 9 月議会が閉会した。ここで教育委員会が提案していたのは、人事案件である。杉野本委員に、2 期目の教育委員を務めていただくことについて、議会の同意をいただいた。杉野本委員には、引き続きよろしくお願ひしたいと思う。

#### ② 10 月 1 日（火）高校魅力化事業・高校進学 mini フェア（二中）

10月1日に、高校魅力化事業で、高校進学 mini フェアが第二中学校で開催された。この事業だが、地元高校への進学率を高めたいということで、市内の県立高校の3校が、第二中学校を訪問して、希望する中学生、あるいは保護者の方に対して、学校説明会を開催したものである。高校魅力化コンソーシアムの新規事業として計画した。実際、説明者は、校長先生であったり、進路指導の教員であったり、学校によっては高校生が出かけて、高校生からいろいろな説明をしていただくという様なことを行った。高校の具体的な生活であるとか、学校生活であるとか、進学に向けてのいろいろなことを知ることができて、参加者からは非常に好意的に受けとめていただいたのではないかと思っている。この日を皮切りに、市内の8つの中学校すべてで説明会を開催する予定としている。

③ 10月17日（木）中国地区都市教育長会（米子市）

10月17日、中国地区都市教育長会が米子市で開催された。この大会では、文部科学省から、令和7年度の概算予算要求について説明を受け、続いて、学校教育と社会教育に関して、出雲市と倉敷市から研究発表を聞いた。そのあと情報交換会があったが、ここで出雲市からは不登校対応についての取組状況の報告があり、すべての中学校14校と、3割の小学校の12校に不登校相談員を置いているということであった。

それから、不登校の保護者同士が繋がる親の会の立ち上げ支援も行っておられるということで、相談員の配置については、浜田市も少しずつ取組を始めているが、こうした横の繋がり、その会の必要性や意義などについても確認をさせていただき、これからそうした事例なども参考にしていきたいと思っている。

なお、来年、令和7年度はこの中国地区の都市教育長会は、浜田市で開催される予定となっている。

④ 10月24日（木）三市三町教育長会議（合庁）

10月24日に、三市三町教育長会が開催され、来年度の教職員の人事異動に向けた事務説明を受けた。いよいよこれから具体的な作業が始まっていく。

⑤ 10月27日（日）浜田ことばを育てる親の会50周年記念大会（松原小学校）

10月27日、浜田ことばを育てる親の会の50周年の記念大会

があった。この親の会というのは、言葉や聞こえ、あるいはコミュニケーションに関してハンディキャップを抱えている子どもさんを持つ保護者同士が繋がり合って、楽しい体験活動などをされている。また、そういった活動だけでなく、通級指導のための環境整備を後押しする様な活動もされており、この50年の間に、浜田市内の校区やあるいは校種を超えて通級指導教室が広がっていった。その様なことにも、力を発揮された活動だったのではないかと考えている。その50年の長きにわたる活動に敬意を表したいと思っており、教育委員会としても、これから子ども一人一人の個性に応じた適切な教育環境が提供できる様、努めていきたいという思いを強くしたところである。

以上、簡単ではあるが、教育長からの報告とさせていただきたい。この中で何かご質問等あれば伺いたいと思うが、いかがか。

各委員

特になし。

## 2 議題

### (1) 浜田市教育委員会ボランティア表彰について（資料1）

山口課長

平成23年度から、子どもたちの見守りや声かけ事案の防止といった、地域で子どもたちの通学路の安全確認や見守りをしていただける学校について、学校長の推薦を受けて、教育委員会が表彰するという制度を作っている。これは、教育委員会が決定して表彰することになっているため、今年度の表彰対象者を本日お諮りしたいと思う。

今年度は、団体1団体と個人2名が学校長から推薦されたため、この方々を表彰対象としてお諮りする。

具体的には、表の1番目は今福小学校から推薦があった。団体名は、今福地区自主防災会で、代表は岩崎敏様である。この会は、平成26年11月に発足されて、特に今福小学校周辺通学路で熊がよく出るというところで、特に民家がきれる地域がある。具体的には金城のスマートインター付近、それから1kmも行かないところに集落がある。学校を中心に学校周辺で、こういった熊の目撃に対して下校時の見守り支援、登校が多いが、下校時の見守り支援を特にしていただいている。朝晩、熊や不審者情報については、通常の見守りとは別に活動されているというところで、今回表彰になっている。それとは別に、学校が行う防災訓練で、引き渡し

の訓練をするが、そういった時の防災訓練にも協力していただいている。

次に 2 番目と 3 番目だが、弥栄小学校から推薦があった。主には、役場周辺から弥栄小学校の付近である。弥栄小学校の児童は、木都賀などからスクールバスで登校する児童が非常に多いが、役場から弥栄小学校まで、一本道の県道があり、そこを通学する部分で、徳田様と齋藤様がそれぞれ付き添って、集合場所から一緒になって登校するという活動を続けておられる。

今回は、この 1 団体 2 名について表彰することになる。予定としては、本日決定していただくと、10 月 30 日に今福小学校、弥栄小学校が 11 月 18 日に全校の前で、教育長から、それぞれ団体の代表様、個人の方に表彰したいという流れになっている。

以上である。

岡田教育長

ただいま説明があった、教育委員会のボランティア表彰に関して、何かご質問等あればお願いしたいと思う。

特にない様であれば、この 1 団体と 2 名の個人の方を表彰させていただくということで了解いただけるか。

各委員

全会一致で承認

岡田教育長

ありがとうございました。

では、私から子どもたちの前で、この団体と 2 名の地域の方を表彰させていただきたいと思う。

### 3 部長・課長等報告事項

草刈部長

(代理：藤井課長)

令和 6 年 12 月定例会議日程 (案) (資料 2)

資料 2 をご覧いただきたい。令和 6 年 12 月定例会議の日程の説明をさせていただく。12 月議会は、12 月 2 日から 12 月 18 日までの 17 日間開催の予定となっている。教育委員会に係る部分を中心に、日付順にご説明をさせていただこうと思う。

まず、11 月 5 日に総務文教委員会が行われる。ここでは、前回は審議いただいた自己点検の報告をする予定としている。11 月 15 日にある全員協議会は、各委員会の内容を受けて開かれる予定となっている。11 月 22 日が、12 月議会の一般質問の通告の締切日となっている。ここで出揃った質問が、我々執行部に提示をされるため、翌週中のところで、答弁書の原稿案を完成させるという運びとなっている。12 月に入り、12 月 2 日、

ここで議会が開会となる。同日に総務文教委員会も開かれる。この日は、12月10日に開かれる総務文教委員会で、議員が担当課に確認したいことを、所管事務調査というが、それがあつかないか、もしあるならばその内容について協議がなされる。12月3日から6日まで、一般質問が行われ、教育長、教育部長が答弁をする。12月9日、議案質疑だが、こちらは議案の内容、主に条例案等については、それらについての疑義がある場合に、主に細かく担当課長が答弁をする。12月10日の総務文教委員会では、開会初日の委員会で示された所管事務調査と委員会に付託された条例案、総務文教委員会関連の陳情請願等があれば、それらについてここで審議をする。その週の13日、こちらが12月補正予算案について審議をする予算決算委員会がある。最終日、採決は12月18日となっており、その日は全員協議会も開かれるが、ここでは、10日から13日まであった各常任委員会の内容を受け、全員協議会が開かれることとなる。

説明は以上である。

岡田教育長  
各委員

12月議会の定例会について、ご質問等あるか。  
特になし。

藤井課長

行事等予定表（資料3）

資料3をご覧いただきたい。10月28日から11月30日までの行事等予定となっている。特に教育委員方にご出席をお願いしたいところに丸印をつけているが、一番上、11月11日の教育委員会委員と社会教育委員の意見交換会については、すでにお手元の方にご案内が届いているかと思う。その下の次回、第233回の教育委員会定例会が11月20日、場所はこちらの浜田市役所本庁4階講堂ABで行う予定としている。一番下の丸印、11月24日の浜田地域人権・同和教育講演会については、本日お手元に封筒でご案内をさせていただいているため、よろしく願います。

以上である。

岡田教育長  
各委員

では、行事予定等についてご質問はあるか。  
特になし。

鳥居室長

第6回（10月）市校長会資料（資料4）

資料4をご覧いただきたい。10月の校長会で、校長先生方に

示した内容である。9月から引き続いて、学力調査の関係で言及したことについて、若干詳しくということで、今回は、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実についてということの具体をお伝えした。

(1) だが、校長会ですでに伝え、教育委員方にもこのことを伝えているが、個別最適な学びと協働的な学び、この両方に取り組んでいる児童生徒は、正答率が高い傾向があるということ。それから、「授業の内容はよく分かる」「学校に行くのは楽しい」「自分にはよいところがある」そういったところに肯定的に回答している傾向が高いということが示されている。後ほど説明するが、この子どもたちの反応というのは、最もだと感じているところである。下のところにグラフが示してある。全国学力調査の結果については、子どもたちの状況は載せていたが、学校質問調査の状況は載せていなかったため、校長先生方に改めて、浜田市の学校の状況がどうかということでお示した。ご覧いただいている様に、矢印が左側に向いているため、小学校中学校ともに県及び全国を下回っている状況である。個別最適な学びと協働的な学び、そういったところについてはまだまだこれからだということになる。それに合わせて、個別最適な学びで、一番ポイントになることが、これからお話しする複線型授業である。これについて、7月24日に、浜田市の教育委員会のICT活用教育の研修会を行っている。県のメディア研究会の会長にも来ていただき、「ICT活用教育のこれから」についてお話いただいたが、その中で、キーワードは【他者参照】と【複線型の授業】ということでの示しもあった。この複線型授業や他者参照について、ホームページに掲載されていた動画から、解説をつけたものを、今回の校長会の資料で示している。資料の右下に、その動画の最初の画面を示しているが、もし関心があれば見ていただきたい。10分程度である。ここで解説されているのが東京学芸大学教授の高橋さん、それを受けて説明しているのが校長先生ということで、そのコメントを拾わせていただいている。

2 ページをご覧いただきたい。複線型授業に関わってということで、また後ほど具体も申し上げるが、新しい考え方ではなく過去もやっていたが、総合的な学習の時間をイメージしていただくと、ゴールに向かっているいろいろな登り口から子どもたち

が自分に関心のあるところを調べたり、まとめたりして最終ゴールにたどり着くが、その様なところをイメージしていただければいいかと思う。高橋教授の解説である。子ども一人一人が課題を持つ。学級の課題ではなく、子ども一人一人が課題を持ち、自分の判断で調べたり、まとめたり、伝えたりする。そういう活動をする。3つ目の丸だが、これは最先端の学校だが、実践している芝園小学校では3つの指標を大切に、複線型の授業をしておられる。國香校長のところに、3つの指標が示してある。1つは学習課題で、自分で課題を決めるということ。2つ目に学習過程、情報収集するところから発信していくまで自分がどうやっていくのかということも自分で決めていく。3つ目に学習形態、1人でやるのか、ペアでやるのか、あるいはもう少し人数を増やしてやるのか、それも自分で決めていく。この3つの指標の中で、どの程度子どもに自己選択をさせるのかということについては、授業者が事前に決めて、子どもの実態に応じて取り組んでいくという様なかたちにする。そういった複線型の授業の大まかな概要である。國香校長の最後の丸のところだが、すべての授業が複線型になるわけではない。これは当たり前のことである。複線型に適した授業もあれば、一斉指導が効果を上げるという授業もあるため、そこを上手に使っていくということになると思う。

少しページが飛ぶが、資料がつけてある。資料Aで見ていくと、左下に、8研究の内容と書いてあるページがあると思う。1つの例だが、具体的に先ほどのイメージがしやすい様に申し上げると、これは小学校4年生、1つの花という物語文の学習の様子を構想したということだが、指導計画の全7時間扱いで、最初のところ、第1時・2時の2番目の丸のところ、初発の感想を基に自分が決めた学習課題(個人課題)を設定する。次の段にいくと、第3から5時間目のところで、2つ目の丸だが、一人一人が個人課題の解決に取り組む。このあたりが複線型の授業になる。その前にもう一度一番上に戻っていただくと第1・2時間目のところの一番上の丸、全体で取り組む学習課題(全体課題)を設定するというのがある。まずは全体の課題も決まっている。そして、個人の課題を決めていく。2番目の第3から5時間目のところだが、1つ目の丸で、全体の課題をまず解決しておく。みんなで話し合っ解決をする。そのあと、個人個

人が自分の課題を解決していく。個人個人の解決するところは、複線型ということになる。

大体こんなイメージで捉えていただければよろしいのではないかと思う。

元に戻っていただき、2 ページ目の、②である。他者参照に関わってということで、今までも何回か ICT 活用の授業でお伝えしたことがあるが、共同編集機能というのを使うと、他の子どもがやっている取組を見ることができる。それが他者参照ということだが、國香校長のところを見ていただくと、今までだと友達の意見を参考にしようと思えば、ノートを見に行かなくてはいけなかった。あるいは、学習規律がなければ、見に行けなかった。ということも起こるかもしれない。しかし、他者参照がいいところは、いつでも自分のパソコン上から気になる子どものところを見ることができる。自分の席で行い、関心のあるところには、その人のところへ直接聞きに行けばいいわけで、より学びが深まる。3 番目の丸、他者参照ができるというのは大きなメリットであるということ、そういったことをおっしゃっておられる。ここの辺りを校長先生方にお伝えした。

3 ページ目である。複線型の授業を考えることはなかなか難しいため、他者参照だけでもやってください、他者参照だけでも子どもたちの学びの充実に繋がると思うということはお伝えをしている。それから、複式学級の学年別指導について、3 年生は国語で何とかな物語、4 年生は国語の何とかな物語、これを行っている時に、他者参照ができる様になると、学年別授業がうまくいくのではないかとということで、複式学級の学年別指導の救世主になりはしないかというお話をさせていただいた。

次に2番の小中連携教育目標値に対する状況について、中間報告をさせていただいた。全国学力・学習状況調査の結果を受けて、小中連携教育の目標の状況がどうかということで入れた。令和3年から令和5年までは、もう結果が出ているため、県の学力調査の結果を追跡することになっている。その結果である。見ていただいておりますが、丸がついているのが昨年度、令和5年度よりよくなったもの、二重丸が目標値を達成したもので、真ん中の段の学校不適応、変化に対応、ここのところと、ふるさとを愛し誇りを持つ、ここのところは非常にいい方向が出ている。ここは成果だと思っているが、一番上の

生活習慣づくり、このところについて依然課題であるというのが中間報告状況で出てきている。当日は、中学校区ごとのデータも示したが、今後、小中連携教育を進めるにあたって参考にしてほしいということでお示しをした。

以上である。

岡田教育長

ただいまの説明に対して、ご質問があればお受けしたいと思う。

杉野本委員

3 ページの小中連携教育目標値に対する状況という部分で、学校不適応やふるさとを愛し誇りを持つというところは、令和5年度と比べたらぐっと上がっている。全国と県との調査の違いが多少影響しているのか、それとも、他に何か要因があるのか。大幅に伸びている理由があれば聞かせて欲しい。

鳥居室長

質問項目は、生活習慣づくりの家で自分で計画を立てて勉強している、これが全国学力・学習状況調査では今年度削除されているため追跡はできなかったが、県学力調査と全国学力調査、ほぼ同じ文言で質問が出ている。それからもう1つは、県の学力調査は、令和5年度の5年生を対象に評価をしている。中学校は、2年生を対象に評価しているため、同一集団になる。同一集団でありながら、12月に実施したものと、4月に実施したものでこれだけの差が出たというのが、正直私もよくわからない。3学期あたりに、特にふるさとを愛し誇りを持つ、このポイントが非常に上がっているが、3学期あたりに、いわゆる総合的な学習の時間、地域を題材にした学習のまとめをしたり発信をしたりすることが多くなると思う。あるいは、地域の方とそういう発信を踏まえた交流をしたということがあるのではないかと思う。そこの辺りがひょっとしたら影響しているのかと思う。これは予測だが、県学力調査は12月のため、12月のところよりも、子どもたちがそういうことに、ふるさと関係で実感するような取組が多かったのではないか、というふうに思えばと思う。

杉野本委員

承知した。

小学6年生になってすぐ、中学3年生になってすぐの4月のため、1ヶ月もまだ経っていない中でのことで、その前年度末までの取組がよかったところから、新学年での学習への期待度が上がっていると思う。これがどう変わっていくか楽しみにしている。

倉本委員

先ほどの他者参照の話は、10月の最初の校長会でお話をされたのか。

鳥居室長

そうである。

倉本委員

この間、小学校の訪問をした時に、ある小学校で、あることを読んで、その感想を全部入力していき、何人かのコメントを比べていくという作業をしていた学校があった。10月の初めであった。それをかなり前から、その小学校の先生がそういうのを聞いて指導を始められたのか。当然、他者参照というのは授業の過程でやっていくのだろうと思うが、それを鳥居室長の説明を聞かれて刺激を受けられて始められたのか。それ以前から継続してやってきておられたのか。そこの辺りはどうか。

鳥居室長

実は、昨年度の ICT 指定校は美川小学校で、公開授業をした時に他者参照の場面をちょうど授業していた。それは、学力向上推進室だよりでも伝え、それから他者参照すると、他者との対話以外に、自分自身との対話、それから画面を通じた対話もできる。教師は、タブレットを見ていて、誰がつまづいているか発見することができる、そういう授業が可能になる。ぜひやってください、そういう授業をしてください、というのは、今年の子どもの声で作る授業にも位置付けていた。大々的に具体例を出して校長先生方に説明をしたのは、今回の 10 月が初めてである。

倉本委員

いろいろな小学校段階、中学校段階、高校段階でも、人の書いたものを他者に読ませて、自分とどこが違うかというのは、当然、1つの手法としてやっていくが、特に小学校の頃の子どもたちにとってはボキャブラリーが増えるとか、あの人はこんな考え方をしているとは、なかなか感じることもできないかもしれないが、こういう表現の仕方があるのかというのを学んでいくということは、すごく大事な重要なことかと思う。私自身は、それを見た時には小学生でもこういうことができるのかと思って、うまく ICT を使っておられるという感じがして、できれば、どんどん進めてもらいたいという気がした。

岡田教育長

いろいろな科目で、今始まっている。この間、算数でやっていて、何分割かにして面積を求めていた。

倉本委員

さっきの国語の4年生の課題だが、あれもたまたま同じ授業を、どこかで見させていただいた気がして、それも何かいろいろ意見を言い合うということで、かなり徹底し、やり方が広く

鳥居室長  
岡田教育長  
各委員

行き渡ってきているという感じはした。  
ありがとうございます。  
その他はよろしいか。  
特になし。

松井課長

第33回浜田-益田間駅伝競走大会(しおかぜ駅伝)の開催について(資料5)

資料5をご覧ください、第33回浜田-益田間駅伝競走大会(しおかぜ駅伝)の開催について説明をさせていただく。師走の石見路の風物詩として親しまれているしおかぜ駅伝が、今年も開催される。今大会は、益田市の走路内で一部コースの見直しがあった。具体的には3区のところだが、前回の距離を0.1km短縮して、39.5kmで競う。

大会当日は、市役所も各部署に動員をお願いし、各職員の協力をいただきながら運営を行う。

開催日時は、令和6年12月8日(日)午前9時30分スタートである。区間及び総距離については、記載のとおりだが、益田の陸上競技場をスタートして、ゴールがはまだお魚市場前ということで、8区間に分けて競い合う。コース図は、記載のとおりで、大幅な変更は特になし。昨年度の令和5年度は、浜田市のチームが28年ぶりに優勝し、今回も上位を目指して頑張っておられる。ゴール付近は、おそらく11時半頃の到着かと思うため、皆様のご都合がよろしかったら、観戦などしていただければ、大変嬉しく思う。

以上である。

岡田教育長  
各委員

ただいまの件について、ご質問はあるか。  
特になし。

#### 4 その他

##### (1) その他

岡田教育長  
日ノ原係長

事務局からその他何かあるか。  
本日、お手元に自己点検の製本したものをお配りしている。これは、11月5日の総務文教委員会で報告させていただくため、よろしく願います。

以上である。

岡田教育長

その他のところで、委員方からご報告や質問があればお願い

各委員

する。  
特になし。

次回定例会日程

定例会 11月20日(水) 14時30分から 浜田市役所本庁4階講堂 AB

次々回定例会日程

定例会 12月20日(金) 14時30分から 中央図書館2階多目的ホール

15:10 終了